

大磯の災害

— 関東大震災から100年 —



観覧無料



倒壊した大磯駅の駅舎

会期

令和5年8月2日(水)
～10月31日(火)

休館日

毎週月曜(9/18・10/9は開館)
祝日の月曜の翌火曜(9/19・10/10)
館内整理日(9/1)

会場

大磯町郷土資料館 廻廊

協力

大磯町災害救援ボランティアの会

後援

神奈川県博物館協会

展示内容

- ・ 関東大震災 大磯における被害をポスターで紹介
- ・ 関東大震災体験者の証言音声と被害写真の動画
- ・ ハザードマップや防災グッズの紹介(危機管理課)
- ・ 展示「大地震!あなたはどのようにする?」

(大磯町災害救援ボランティアの会)

講演会

「大正関東地震から100年 ～地震に備える～」

100年前に起こった大正関東地震とはどのような地震だったのでしょうか?今後の巨大地震への備えを考えます。

講師 松井 正人 氏(横浜地方気象台 防災管理官)

日時 令和5年8月20日(日) 14:00～16:00

会場 大磯町郷土資料館 研修室

定員 60名(申込不要)

※定員を超えた場合、立ち見となります。

★参加費無料★

訓練「避難しよう!ペットも一緒に」

地震!その時、あなたはどのようにしますか?
ペットと一緒に避難訓練をしてみましょう。

主催 大磯町災害救援ボランティアの会

協力 県立大磯城山公園

日時 令和5年9月9日(土) 9:00～11:00

会場 県立大磯城山公園 ふれあい広場(郷土資料館前)

★参加費無料★

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

電話:0463(61)4700 FAX:0463(61)4660

http://www.town.oiso.kanagawa.jp/oisomuseum/



JR大磯駅から徒歩30分
バス「城山公園前」
下車徒歩5分
県立大磯城山公園駐車場を利用

大磯の災害

— 関東大震災から100年 —

大正12年（1923）9月1日。今から100年前のこの日、関東地方で大きな地震が発生しました。関東大震災（大正関東地震）です。激震に襲われた東京・横浜では火事が発生し、多くの方が亡くなりました。

震源が近かった大磯でも多くの建物が倒壊し、約60人の命が失われました。大磯ではどのような被害があったのでしょうか。また、地震は今後も必ず発生します。わたしたちは地震に対して、どのように備えたらいいのでしょうか。

100年前の被害を振り返り、今後の防災を考えます。



1 高麗山付近で転覆した列車



2 全壊した郵便局



3 国府新宿付近で倒壊した家屋



4 隆起した大磯の海岸

大磯の被災写真

震災の体験談

「揺れ方は、歩けなくて、はいずった。家が倒れてしまった」

「列車がひっくり返った。山側へひっくり返った」

「浜に行けと言われて浜へ行くと魚がはねていた。次に津波が来るから駅へ行けと言われてた」

【写真出典】

表写真：大磯町郷土資料館所蔵

1：『震災記録』（大磯警察署）より

2・3：長谷川幹氏提供 4：杉崎俊和氏提供